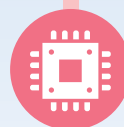


# 第66期 中間報告書

2017年4月1日～2017年9月30日

**LECIP**  
GROUP



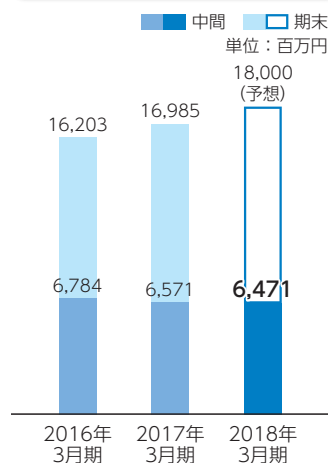
## レシップホールディングス株式会社

証券コード：7213

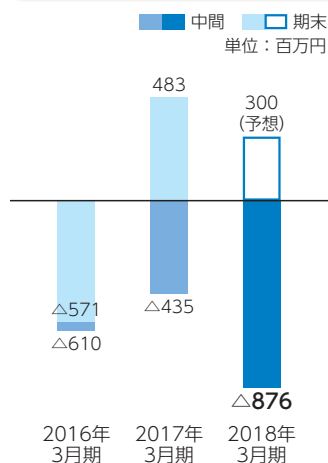
### 決算サマリー / Summary

決算の詳細情報は [レシップHD](#) [IR](#) [検索](#)

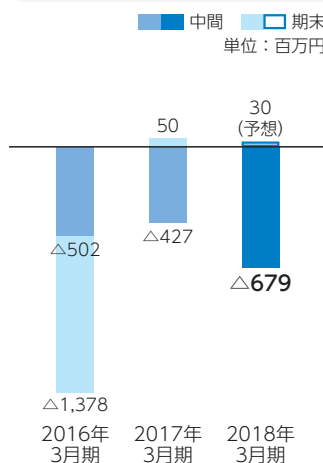
#### 売上高



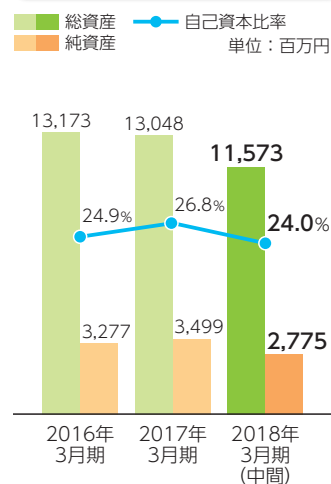
#### 営業利益



#### 親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益



#### 総資産 / 純資産 / 自己資本比率



#### ポイント

- 売上高は前年同期並み
- 営業利益は損失幅拡大
- 首都圏向け製品の開発費が増加

#### 通期見通し

- 通期業績予想の修正なし
- 海外向け製品の開発費が増加傾向

#### トピックス

UITP Summit 2017に出展 (詳しくは次ページに記載)

4月

5月

9月

路線バス用すまぽうとを開発 / 無停電電源装置 (UPS) の状態監視システムを開発 / 働き方改革を実施

米国ローグバレイ交通局より、運賃收受システムを受注 (詳しくは次ページに記載)



代表取締役社長  
杉本 眞

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、自動車や電子部品等の輸出の拡大に加え、国内においても企業の設備投資の増加や個人消費の回復により、穏やかな改善基調で推移いたしました。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上面では輸送機器事業、産業機器事業ともにほぼ前年同期並みとなりましたものの、損益面では2018年よりスタートする首都圏のバス用ICカードシステムの大規模リプレイスに向けた準備や、路線バス運行支援ユニット「LIVU」などの新製品開発のための費用が増加したことにより損失幅が拡大しました。また、2018年3月期の通期連結業績につきましては、当初予想を据え置きとさせていただきます。

当社を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いておりますが、当社が直面する課題を踏まえた上で、中長期的な視野で経営を行ってまいりますので、引き続きご支援、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

事業別概況 / Business Segment Overview

輸送機器事業

路線バスや鉄道用のワンマンシステム機器をトータルに提供し、乗客の利便性向上をサポートしています。また、バス・鉄道・トラック・乗用車に搭載される室内用・室外用照明機器の製造・販売も行っています。

当第2四半期の営業概要

鉄道・自動車市場の売上は好調に推移したものの、バス市場の売上は海外案件の剥落により減収となりました。損益面につきましては、首都圏のバス用ICカードシステムのリプレイスに向けた準備や、新製品開発費用が増加したことにより、損失幅が拡大しました。

産業機器事業

インバーター技術をベースとした産業用電源関連機器を提供するほか、子会社レシップ電子㈱において自動車用電装品、産業機器関連の各種プリント基板実装事業も行っています。

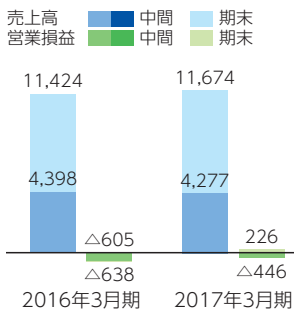
当第2四半期の営業概要

自動車向けプリント基板の受注が増加したものの、通信基地局向け無停電電源装置の納入が第3四半期以降となったことから、前年並みの売上高となりました。損益面につきましては、原価率の上昇及び、過去に納入した無停電電源装置の改修により減益となりました。

売上高

41億69百万円

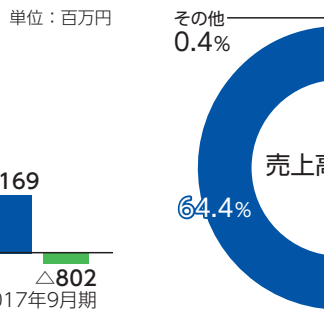
前年同期比2.5%減



営業利益

△8億2百万円

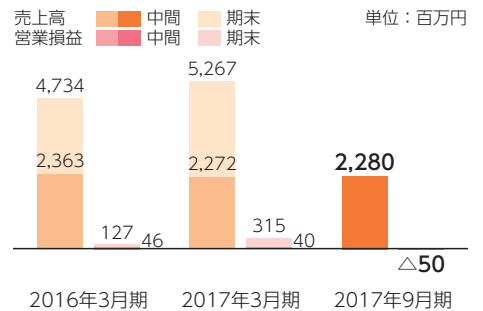
前年同期は4億46百万円の営業損失



売上高

22億80百万円

前年同期比0.3%増



営業利益

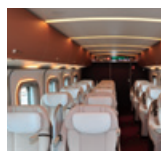
△50百万円

前年同期は40百万円の営業利益

主な製品

バス・鉄道用システム機器

- ICカードシステム
- 運賃箱
- 整理券発行器
- OBC-VISION (液晶表示器)
- LED式行先表示器
- 運行管理システム



主な製品

- フォークリフト用充電器
- 屋外用無停電電源装置
- LED電源
- 直管型LEDランプ
- 屋外蛍光灯看板用電子安定器
- ネオン変圧器 (巻線式・電子式)
- プリント基板実装事業



— 中期経営計画(2016～2020年度) —

## Challenge Again 2020 安定的な売上200億円に向けて、 チャレンジ・アゲイン

目指す姿

快適な日常の実現に貢献する製品の創造に挑戦し、グローバルに成長し続ける企業

定量目標

売上高200億円以上、営業利益10億円以上

重点課題

New product

O&M

Global

Quality

Project

既存市場  
|| 国内

既存分野

- インバウンド対応(バス)  
— 表示機器、ICカード片利用案件、等
- 輸出車両への対応力強化(鉄道)
- 屋外用UPSの用途展開(電源)
- O&M(運用保守)の強化(全市場)

新分野

- TMS・運行管理システム  
— バスロケーションシステム  
— 自動歩進システム
- エクステリアライトの強化(自動車)

新市場  
|| 海外

- ・米国
  - ・スウェーデン
  - ・シンガポール
  - ・タイ
- の4拠点にてそれぞれ特色ある活動を展開

- 非接触クレジットカードや、キャッシュレス決済への対応

## 中期経営計画の進捗

現在の中期経営計画は、前回の中期経営計画で果たせなかった「安定的な連結売上200億円以上、営業利益10億円以上」という目標への再チャレンジの意味を含め、Challenge Again 2020と名付けて活動を進めています。

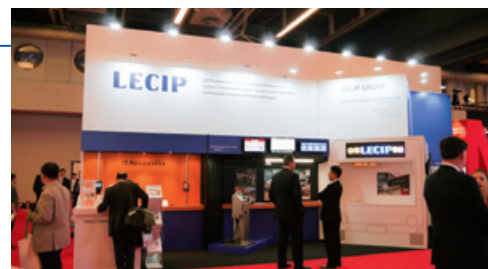
その進捗状況につきましては、現在のところは概ね予定通り進んでいると評価しています。現中期経営計画の大きなイベントである首都圏のバスICカードシステムのリプレースに関しましては、次年度からの本格化を前に着実に受注が積み上がっている状況にあります。また、液晶表示器やカラーLED式行先表示器の販売も好調に推移しており、少なくとも東京オリンピック・パラリンピックの開催される2020年まではこの好調が持続するとみています。

海外市場に関しましては、今年8月にニューヨークの通勤車両向け灯具の量産を開始したこと、また新規に米国の交通局より運賃収受システムを受注するなど、特に米国ビジネスに関しましては事業環境の改善の兆しがみえてまいりました。

## トピックス/Topics

### Topics 1 UITP Summit 2017に出展

2017年5月、連結子会社のLECIP INC.は、カナダ・モントリオールで開催されたUITP(国際公共交通連合)の展示会「UITP Global Public Transport Summit」に出展しました。展示会では北米向け運賃箱やOBC-VISION(液晶表示器)、LED式行先表示器等の展示を行い、大勢のお客様に当社製品を紹介しました。



### Topics 2 米国ローグバレイ交通局より、運賃収受システムを受注

2017年9月、連結子会社のLECIP INC.は、米国オレゴン州メドフォード市に位置するローグバレイ交通局より、路線バス用運賃収受システムを受注しました。ローグバレイ交通局は、オレゴン州メドフォード市に位置し、9路線30台のバスを運行している公営の交通局です。当交通局は、既存の運賃箱の老朽化及びシステムの品質面から新しい運賃収受システムの導入を検討していました。2018年春頃に、当社製の運賃箱をはじめとした各種機器、システムが納入される予定であり、運賃箱の性能向上のほか、売上情報管理の強化、メンテナンス性の向上を実現します。



当社は2016年に米国市場において日本企業で初めて運賃収受システムの納入に成功しましたが、今回の案件も確実に納入を果たすことで、米国輸送機器市場における当社の地位を確固たるものとしてまいります。

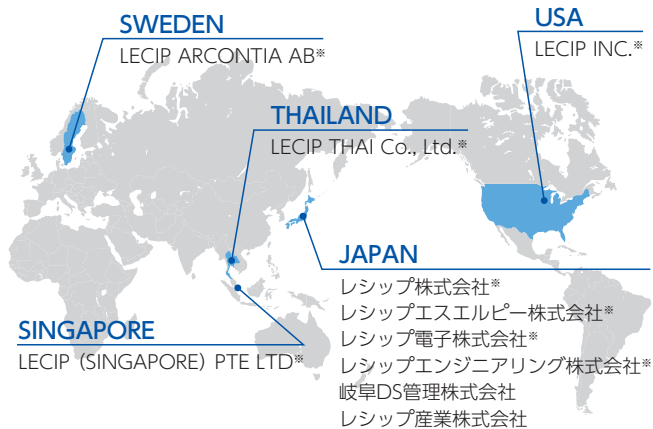
会社概要

商号 レシップホールディングス株式会社  
(英文社名:LECIPI HOLDINGS CORPORATION)  
所在地 〒501-0401 岐阜県本巣市上保1260番地の2  
TEL.058-324-3121 FAX.058-323-2597  
設立 1953(昭和28)年3月  
資本金 7億3,564万円  
従業員 連結563名  
上場取引所 東京証券取引所市場第一部  
名古屋証券取引所市場第一部

役員

代表取締役社長 杉本 眞  
専務取締役 山口 芳典  
取締役 長野 晴夫  
取締役 杉戸 庸晃  
取締役 監査等委員 木村 静之(社外)  
取締役 監査等委員 杉山 涼子(社外)  
取締役 監査等委員 内木 一博(社外)

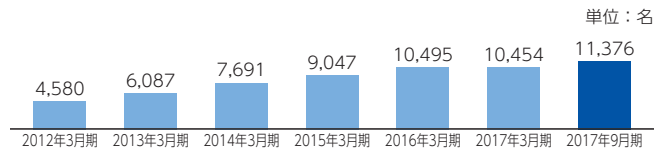
レシップグループ (※は連結対象会社)



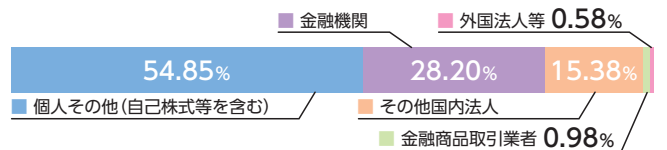
株式の状況

発行可能株式総数 44,000,000株  
発行済株式総数 12,798,200株  
株主数 11,376名

株主数推移



所有者別株式数分布



株主の皆様のお声を聞かせてください

当社では、株主の皆様のお声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ですが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 7213

いいかば 検索

空メールによりURL自動返信  
kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)  
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。  
(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)  
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)  
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

ご回答いただいた方の中から  
抽選で薄謝(図書カード500円)  
を差しさせていただきます

株主メモ

事業年度 4月1日~翌年3月31日  
期末配当金受領株主確定日 3月31日  
定時株主総会 毎年6月  
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
Tel. 0120-232-711(通話料無料)

電子公告により行う。【公告掲載URL <http://www.lecip.co.jp/hd/>】  
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

公告の方法

ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他の各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

お問い合わせ先 **レシップホールディングス株式会社**

管理本部 総務部 〒501-0401 岐阜県本巣市上保1260番地の2  
TEL. 058-324-3121 FAX. 058-323-2597  
URL <http://www.lecip.co.jp/hd/>

UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

